

会 議 録 (概要)

会議の名称	第1回 (仮称) 佐渡文化振興財団設立準備会
開催日時	平成29年10月31日(火) 10:00~11:30
場 所	佐渡市消防本部 1階 コミュニティールーム
議 題	(1) 設立計画(案)の概要 ・開催要綱及び委員 ・名称及び設立趣旨(案) ・設立スケジュール(案) (2) 今後の協議テーマとスケジュール
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	有識者 7名 事務局(理事者) 市長:三浦 基裕 副市長:藤木 則夫 教育長:渡邊 尚人 (企画課) 課長:岩崎 洋昭 主任:源氏 諭史 (観光振興課) 課長:祝 雅之 (社会教育課) 課長:越前 範行 (佐渡学センター) 次長:岡部 欽也 主任:鶴間 基宏 主任:石渕 裕作
会議資料	1. 設立準備会開催要綱 2. 設立準備会会員名簿 3. 財団設立主旨 4. 財団イメージ図 5. 財団設立スケジュール(案)
傍聴人の数	0人
会議録作成者	教育委員会社会教育課佐渡学センター文化振興係 主任 石渕裕作

会議の概要（発言の要旨）	
議題・発言・結果等	
決定事項	<p>○座長はA氏。副座長については、後日座長と相談のうえ決定し、各参加者に報告する。</p> <p>○財団の正式名称については、定款決定時に最終決定する。</p> <p>○会員については、委嘱は行わない。原則、資料P3「出席要請者名簿」に記載されているメンバーで進めていくが、テーマによってはそのテーマに精通した方を招聘し、意見を伺う。</p> <p>○財団の仮称名称に「伝統」を加え、（仮称）佐渡伝統文化振興財団とし、開催要綱の一部改正を行う。</p> <p>○次回以降の準備会の際には、事前に資料を参加者に送付し、確認してもらう。</p> <p>○第2回準備会を11月9日（木）午後1時30分～、第3回準備会を11月24日（金）午前10時～開催する。</p> <p>○第2回準備会の議題である財団で行う業務について、事前に会員の意見を事務局でとりまとめ、事前送付する。第3回以降についても、同様に議題に対する事前に会員の意見を事務局でとりまとめて、資料を作り事前送付する。</p>
会議概要	<p>市長挨拶の後、座長及び副座長の選出を行い、仮称名称、設立主旨、設立スケジュールの案について説明し、各会員から意見をいただいた。</p>
発言要旨	<p>三浦市長</p> <p>（挨拶）</p> <p>佐渡は多くの郷土芸能、伝統文化、文化財を有しているが、この維持、保全、後継者育成、普及について思うようにうまくいっていない。そのような中で、将来的にしっかりと佐渡の伝統文化、芸能を維持していくために来年度中に財団を設立し、佐渡市を挙げて後継者育成、普及活動に全力で取り組んでいきたい。</p> <p>他の自治体の文化財団は範囲を限らず文化的なものを担っているが、佐渡市では「伝統文化」に絞り込んで活動する財団を考えている。また、難しいことではあるが、最終的には自主運営できる財団になってもらい、安心して佐渡の伝統文化を担えるような組織になってもらいたい。</p> <p>祝課長</p> <p>（1）仮称の名称（「伝統」を入れるかどうか）及び設立趣旨（案）について</p> <p>「伝統」が入ると入らないとで、何か明確な違いが出てくるのか。</p>

会議の概要（発言の要旨）		
議題・発言・結果等		
発言要旨	渡邊教育長	「文化」だけだと範囲が広く、財団で取り扱う業務も多岐に渡ってしまう。始めは規模を絞ってできるところからやらないと財団が空中分解してしまう恐れがある。喫緊に必要なところから、または将来的に伸ばしていきたいものからやっていきたいというのが趣旨です。そのため、「伝統」を入れたほうが良いと考える。
	A氏	伝統文化に限るということは、島民が新しく創作または始めたもの、例えば幼稚園での太鼓教室といったようなものには財団は関わらないのか。
	三浦市長	新しい文化も当然必要である。ただ、内部協議の結果、始めは、財団で行う業務の種目を絞らないと運営が難しくなる。佐渡として将来的にしっかりと維持、保全、後継者育成、普及させる必要のある文化、佐渡の伝統文化に重点を置いてしっかりとやっていきたい。
	渡邊教育長	そういったものや、今まであった他の芸術については、今までどおり教育委員会が担っていきたい。
	B氏	設立趣旨や、名称についても現時点では仮称であることから、事務局の案でいいと思う。ただ、対外的に、例えば将来的にインバウンド（訪日外国人）とかを呼び込む際に名称が堅過ぎると覚えづらい。日本人の若者にとってもとっつきにくくなり、マイナスイメージにつながる。このため、最終的な名称は印象に残りやすい、覚えやすいものにしたほうがよい。
	C氏	佐渡の「伝統文化」には力もあるし、数もあるし、特徴もあり売りとしていけるので、そこにスポットをあてるという財団の設立趣旨はいいのかなと思う。
	D氏	範疇を広げてしまうと、例えば芸術祭のようなものも支援するのかという議論になる。そう言った面でも棲み分けができるので、伝統を入れたほうがよい。
	A氏	マーケティング的には「伝統」という言葉を入れたほうが良いのか。

会議の概要（発言の要旨）

議題・発言・結果等

発言 要旨	B氏	佐渡の伝統文化は、ある程度カテゴライズされると思います。そのカテゴライズのなかで、最終的にどこから売り出しているかと考えたときに、大衆文化で分かりやすいものはイベントとしても成立し易く、人を呼び込むのもPRし易いと思います。
	E氏	「伝統文化」と言えば、一番分かりやすく頭にも残りやすく、説明し易い。「伝統」を入れることで、イメージが膨らみ、凄いもの、貴重なものという感じがし、対外的にもアピールできると思う。
	F氏	<p>（2）設立スケジュール（案）について</p> <p>第2回準備会で、予算とあるが予算についてはどのように考えているか。</p>
	三浦市 長	<p>たたき台ではありますが、立ち上げに向けての出資金については、クラウドファンディングを使えないかなと考えている。クラウドファンディングであれば、佐渡内外を含めて、みんなが佐渡の伝統文化の維持、保全をしていくという意識も醸成し易いのかなと思う。</p>
	B氏	<p>（3）今後の協議テーマについて</p> <p>何を最初に財団として売り込んでいくのかと考えたときに、素人の方でもやりやすく、不特定多数の人が入っていきやすく体験もしやすい民謡や文弥人形といったものをまず少しずつブランド化していき、大勢の人に認知してもらい交流人口の拡大に繋げていくという戦略から入っていったほうがいいのではないかなと思う。</p>
	D氏	財団で何をするのかを考えるうえで、今、佐渡市で支援、育成についてどういった事業をやっているのかを確認する必要があると思う。
	D氏	<p>（4）組織について</p> <p>組織については、どういったイメージなのでしょう。</p>
	三浦市 長	<p>人集めについては、基本公募で考えている。極力スタート段階から、市の職員がいないような形にしたい。</p>

会議の概要（発言の要旨）		
議題・発言・結果等		
発言 要旨		行政の人間が絡むにしても、財団の文化振興のための運営に手を貸すのではなく、立ち上げ当初の経理や事務処理を手伝うのはいいと思うが、基本的には民の視点、発想でやってもらいたい。